

# オンライン面会のご案内

## ご面会時間について

木曜・日曜・祝祭日以外の14時～16時  
面会時間/10分程度

## ご予約方法

下記のQRコードからLINEの「友だち追加」をして頂き、メッセージに日時、ご希望時間、病棟名、患者氏名、予約者氏名、続柄、携帯番号を記載して送信して下さい。  
日程が決まり次第、当院より、メッセージを送らせていただきます。  
当日予約は受け付けておりません。  
尚、病状によっては医師の判断により面会を中止させていただくこともありますのでご了承ください。

## ご利用対象者

面会者：LINEが使える端末機器を所持している、2親等以内のご家族、後見人、保佐人、または、主治医が特別に認めた方

問い合わせ先  
医療法人同和会 千葉病院  
庶務課 高橋・富田  
TEL:047-466-2176



# 医療法人 同和会 千葉病院

## 【病院概要】

診療科  
精神科・神経科・歯科（要予約）  
院長  
小松 尚也  
外来診療時間  
平日9:00～12:30（月曜日のみ9:30～12:30）  
土曜日9:00～12:30（午後は予約制）  
休日  
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）  
所在地  
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508  
TEL:047-466-2176 FAX:047-466-7503  
ホームページ://www.chiba-hp.on.arena.ne.jp  
千葉県認知症疾患医療センター  
TEL:047-496-2255 FAX:047-496-2256

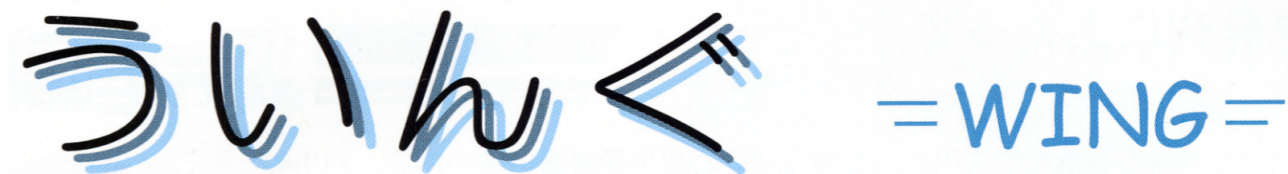


## 千葉病院 患者様の権利

個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。  
安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。  
職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。  
精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。  
職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。  
個人情報は保護されます。

発行：医療法人同和会 千葉病院  
発行日：令和4年7月31日  
住所：千葉県船橋市飯山満町2-508  
047-466-2176 Fax 047-466-7503  
URL://www.chiba-hp.on.arena.ne.jp

編集後記  
新型コロナウイルス感染症の猛威はまだまだ衰えることなく、当院においても感染者が間断なく出ている状況です。そんな中、当院では5年に1度の「病院機能評価」訪問審査を受審しました。通常医療に加え、コロナ対策とその合間に受審準備となってスタッフは大変でしたが、その成果もあり、審査当日は概ね好評価をいただきました。



千葉病院広報紙 2022.夏号（第74号）発行 医療法人同和会 千葉病院

# 病院機能評価訪問審査を受審しました

当院では、2002年より、(財)日本医療機能評価機構が行う「病院医療機能評価」を受審しています。

本年度は4回目の更新年となり、書類と訪問による審査を受けました。

「病院医療機能評価」とは、各病院が適切な医療体制を維持しているかについて、公的な第三者機関に客観的に評価してもらうものです。当院では2002年に受審、認定され、2007年、2012年、2017年と5年に1回の更新審査にも合格。今回の更新年を迎えました。



写真左2点 病棟も隅々まで検査されました。  
写真上「ケアプロセス審査」では多職種が集まって検査を受けました。

訪問審査は6月13日、14日の二日間。機構より3名のサーベイヤー（審査官）が当院に来院され、書類確認や面接、院内各部署の訪問など、各種審査が行われました。

2回目の更新審査までは、マニュアルや業務記録など、書類の確認を中心とした審査でしたが、前回（2017年）より、「ケアプロセス審査」という、実際の患者さんを症例として、その症例への医療行為やサービスの提供が適切であったかを審査する方式になりました。

また、本来は2月に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行や、それに伴うまん延防止等措置の発令を踏まえ、4ヶ月遅れての審査となりました。

小松尚也院長以下職員が一丸となって、前日まで受審に向けた準備や取り組みを行い、審査当日を迎えました。サーベイヤーからはいくつか課題となる指摘を受けたものの、再更新に向け高い評価をいただきました。



# 認知症疾患医療センターについて

精神保健福祉士 高城はるか

昨年冬号で、小松尚也センター長より、当院認知症疾患医療センターの概略についてご紹介させていただきました。今号では、精神保健福祉士(ケースワーカー)より、相談業務(と外来診察)についてご紹介させていただきます。

平成26年10月より、医療法人同和会千葉病院に、認知症疾患医療センターが併設されました。「認知症疾患医療センター」とは、地域における認知症の専門医療機関として、早期発見、診断・治療、またかかりつけ医や介護施設との連携の中心となる施設のことです。

千葉県内では医療圏域ごとに開設されており、千葉病院は、心代会八千代病院(八千代市)とともに、東葛南部地区(船橋市・八千代市・市川市など)の認知症疾患医療センターとして開設・運営しております。

## 外来診察

初回(検査・問診)は電話予約制です。

保険証、内科など他の病院に通院している場合はお薬手帳と、可能であれば紹介状を持ってきて頂くようお願いしています。また、診察にはご家族やご本人の生活状況をよく知る方の付添いをお願いしています。

## 相談業務

認知症疾患医療センターの専用電話では、精神保健福祉士8名が日替わりで相談を受け付けています。必要に応じて看護師が相談に乗る場合もあります。

面談での対応や、相談を経て、受診に繋がり、通院や入院になった方の相談にも対応しています。

相談はご家族からが7~8割、他にご本人、支援機関、病院、施設等から頂いています。物忘れなどの初期の症状がみられる方から徘徊や暴力、大声、不眠、幻覚、歩行の困難さがある方まで様々です。相談内容に応じて、当院受診予約、介護保険申請、他の医療機関への受診などを案内しています。

ご本人が受診を拒否されており、ご家族や支援者が困っているというご相談もいただきます。そういう方には、ご家族のみが自費で医師に相談をする「家族相談」という方法もあります。

千葉病院認知症疾患医療センター 電話相談窓口 047-496-2255  
月・火・水・金・土 9:00~16:30

千葉病院Drによる医療コラム 第42回

## 家族が統合失調症と診断されたら その2

千葉病院医師 岡田和樹

前回、家族が統合失調症と診断されたときに最も大切なことの一つとして、精神科医療につながることをあげました。無事、精神科に通院もしくは入院し、治療を受ける環境が整ったとして、次に考えるべきことは何でしょうか。

家族が統合失調症と診断されたとき、「自分がいけなかったのではないか」、「過去にあったあの出来事のせいで統合失調症になったのではないか」などと自分を責め、後悔する方が多くいらっしゃいます。しかし、前回も書いた通り、統合失調症は原因不明の病気です。少なくとも「家族のせい」と考える必要はありません。患者さん本人の回復に向けてどのようなことが必要かを主治医、その他支援者とともに建設的に話し合うことが大切であり、原因を追い求める必要はありません。

病気からの回復にむけて次に大切なことは主治医やその他支援者とコミュニケーションをとっていくことです。特に初めて診断されたときにはわからないことがたくさんあるはずで、「統合失調症ってどんな病気?」「症状はよくなるの?」「社会復帰できるの?」「通院、入院にお金がかかってどうしよう」など様々な疑問・心配事が出てくるのが自然です。まずは主治医やPSW(精神保健福祉士)、看護師等病院スタッフにご相談ください。様々な立場の関係者が連携して考えていくことが大切です。

患者さん本人とはどのように接したらいいのでしょうか。ご家族を含めた身近な人の感情表出(Expressed Emotion)が高すぎる(そのような状態を高EEといいます)と再発率が高いとの報告があります。

具体的には 批判的な感情表出(例:「いい歳して仕事もしない」などと本人に言う)、 敵意のある感情表出(例:「いっそ、この子がいなければいい」などと本人に言う)、 情緒的に巻き込まれている感情表出(過干渉、過保護など)は避けるべきです。落ち着いて「どっしりとかまえる」ことができるといいですね。

## 林静誠を偲ぶ会

6月9日、船橋市市民文化ホールにて、「林静誠を偲ぶ会」が開催されました。

林静誠氏は、1961年に医療法人同和会に入社、副理事長、理事長、相談役、会長を歴任され、半世紀以上にわたって当法人の経営を担いました。その一方で、社会福祉法人清和会ワールドナーシングホームの創設や、小さな親切運動船橋支部や千葉県高齢者福祉協会といった船橋市内外のさまざまな団体役員に就任するなど、医療・福祉・介護の分野でご活躍されました。

当日16時からの式典では、「林静誠を偲ぶ会 世話人代表」を務めた松戸徹船橋市長の弔辞に続いて、小林鷹之衆院議員(経済安保相、公務のため夫人が代読)、藤原宏高ライオンズクラブ国際協会333-C地区ガバナー、北翔海莉さん(女優・元宝塚歌劇団トップスター)、そして服部孝道同和会理事長がそれぞれ追悼の辞を述べました。

会場には、在りし日の静誠氏を偲ぶ数々の写真や思い出の品が展示され、およそ650名の参加者は、各々故人を偲ぶ機会となっております。



写真上: 会場の様子  
写真右下: 弔辞を述べる松戸徹市長(右側は喪主の林清人同和会副理事長)  
写真左下: 同じく、弔辞を述べる服部孝道同和会理事長



